

ながいけ  
**長池ニシタンボ遺跡**

調査面積 194 m<sup>2</sup>

調査期間 令和5年6月15日～令和5年7月31日

遺跡の種類 集落跡

遺跡の時期 弥生、近世

主な遺構 溝、土坑、小穴

主な遺物 弥生土器、近世陶磁器、砥石

概要

長池ニシタンボ遺跡は、平成3年度に発掘調査が行われて以来約30年ぶりに発掘調査を行いました。調査では弥生時代の溝や小穴などを確認しましたが、建物跡は確認できませんでした。近世(江戸時代)の大型の溝からは陶磁器や砥石などを発見しており、南側に位置している江戸時代頃の長池村から流れ込んだものと考えられます。

過去の調査成果から長池ニシタンボ遺跡の中心は令和5年度調査区より南側に位置しており、今年度調査範囲は遺跡の縁辺部であることが明らかになりました。



遺跡の所在地



調査地全体写真